

「在宅医療・介護連携に関する調査」アンケート結果
居宅介護支援事業所 ケアマネジャー

◆調査実施期間	平成30年11月1日～11月30日
◆調査対象施設	日進市内の全居宅介護支援事業所（19施設）
◆調査ケアマネ数	51人（うち回答48人）

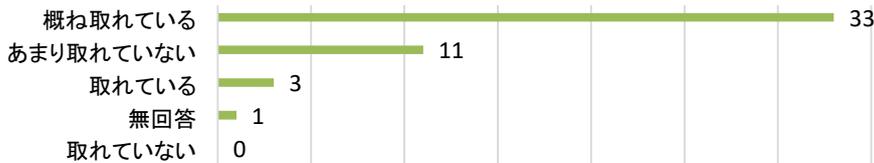
医療依存度の高い在宅患者（末期がん・胃瘻・膀胱瘻・腎瘻・人工肛門・在宅酸素・人工呼吸器・尿道カテーテル・褥瘡・経管栄養・腹膜透析 等）を担当したことがありますか？



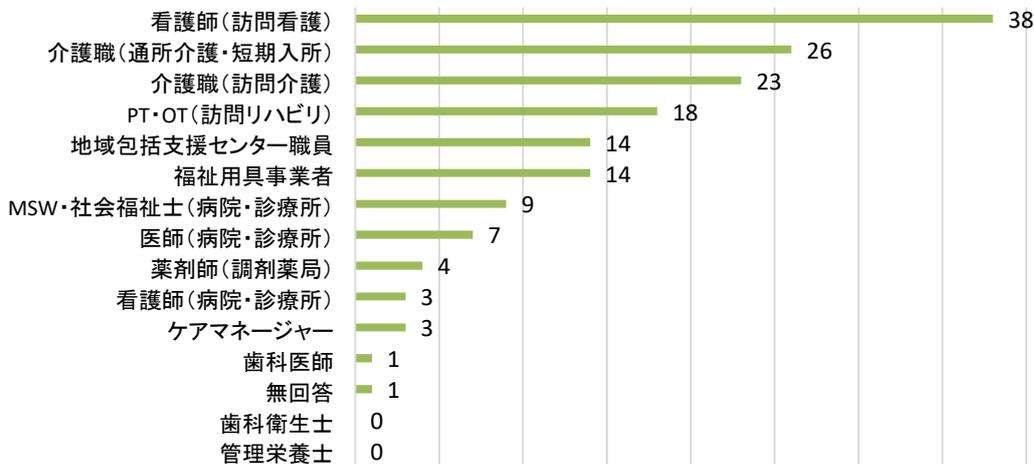
現在担当している利用者のうち、在宅医療（往診や訪問診療）を受けている方はいますか？又何人いますか？



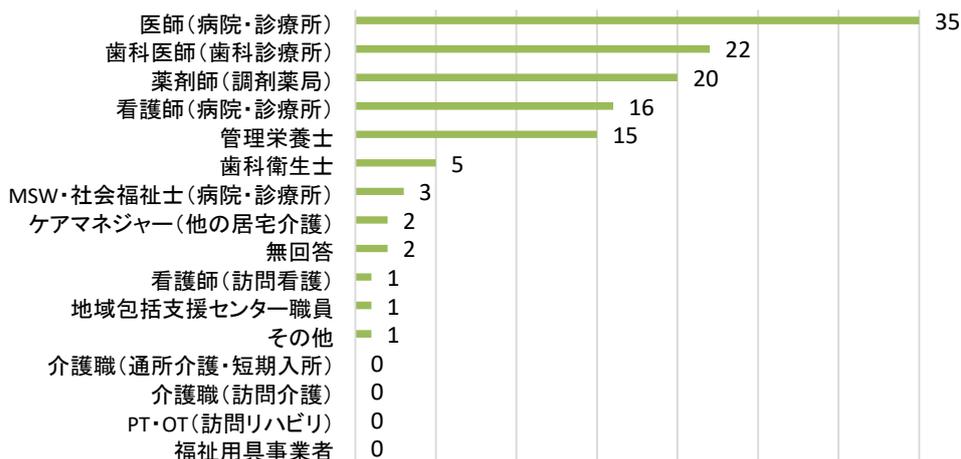
在宅で医療と介護を必要としている高齢者支援における在宅医療と介護の連携について現在、在宅医療と介護に関わる多職種との連携はうまく取れていると思いますか？



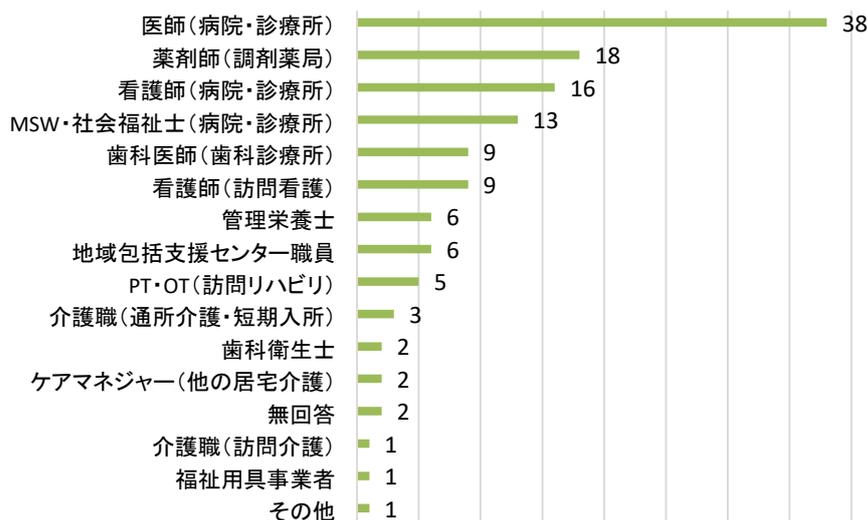
よく連携が取れていると感じている事業所、職種を挙げてください。（上位3つまで）



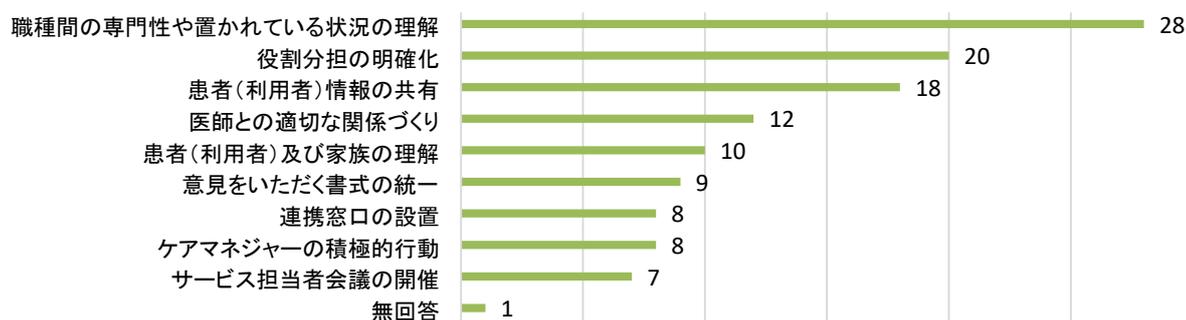
連携がとりにくく感じている事業所、職種を挙げてください。（上位3つまで）



今後、更に連携を強化していく必要があると思われる事業所、職種を挙げてください。（上位3つまで）



多職種間の連携がうまくいくには何が必要と思われますか？（上位3つまで）



多職種との連携において、もっとも有効と思われるツールを1つ選んでください。



多職種との連携・連絡に普段活用している手段は何ですか？

第1位	電話
第2位	FAX
第3位	面談
第4位	メール
第5位	その他
0件	ヘルピーネット

医療機関や医療職との連携についてお尋ねします。連携のある主な医療機関名を教えてください。

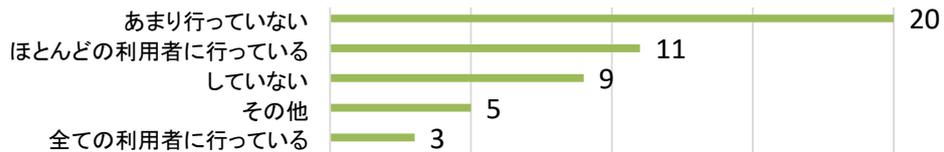
最も連携の機会が多いと回答した医療機関

第1位	日進おりど病院
第2位	愛知国際病院
第3位	東名古屋病院

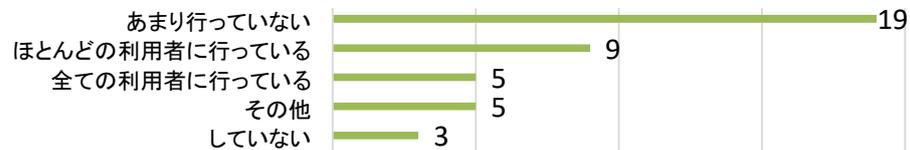
日常の療養生活について

(1) 主治医への連携はどの程度されていますか？

◆申請時の相談



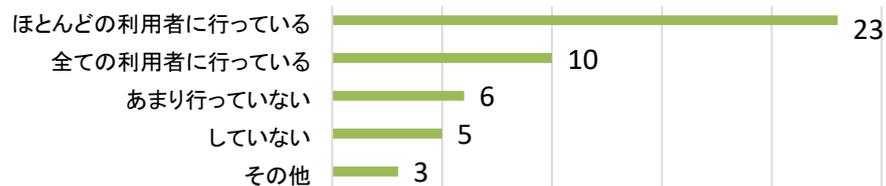
◆主治医意見書作成への情報提供



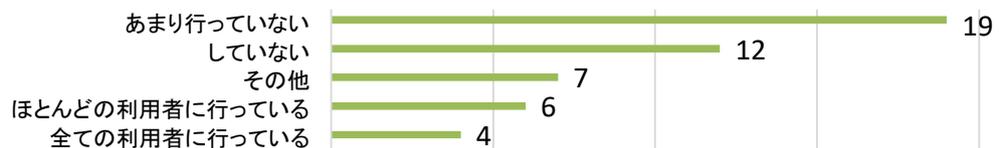
◆サービス担当者会議への出席依頼



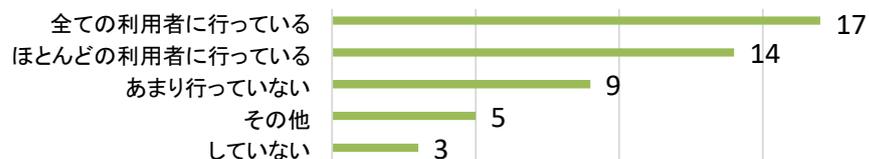
◆入退院時の連絡



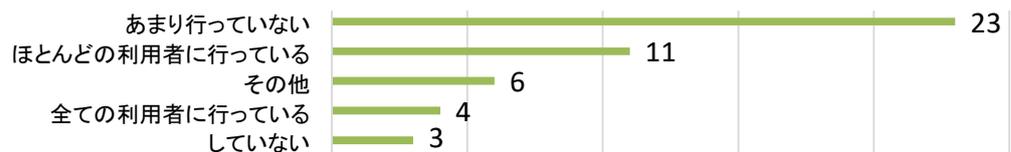
◆通院時同席



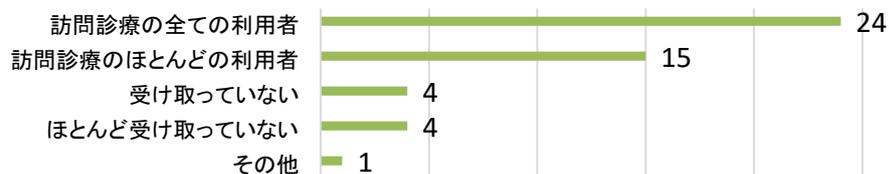
◆居宅サービス計画書を渡す



◆生活の様子、家族状況などの情報提供



◆診療情報を受け取っているか

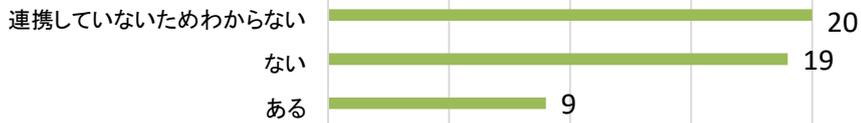


(3) 歯科医師（歯科診療所）との連携についてお尋ねします。

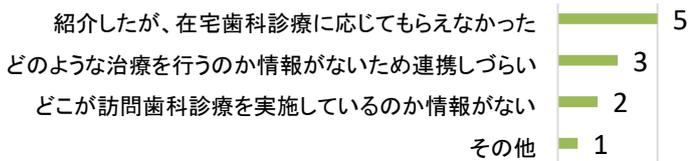
◆サービス担当者会議への出席依頼



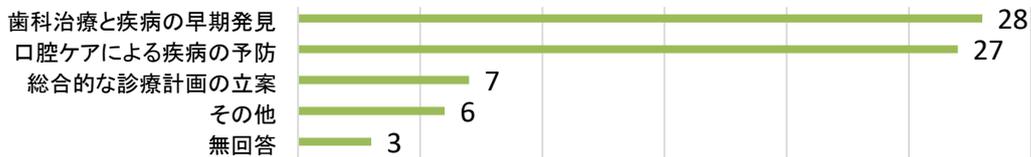
◆歯科医師との連携で困ることはありますか？



◆「ある」と答えた方は理由についてもお聞かせください。（複数回答）



◆歯科医師との連携で充実したい内容は何ですか？

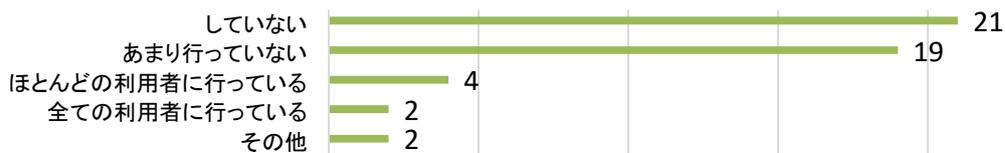


◆居宅療養管理指導を行っている歯科医師より診療情報を受け取っていますか？



(4) 薬剤師（薬局）との連携についてお尋ねします。

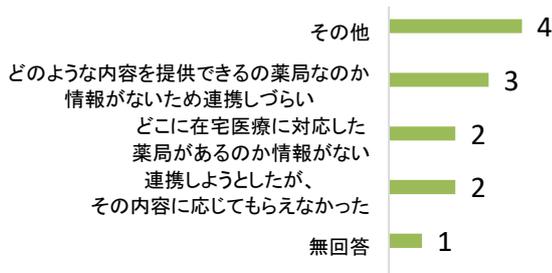
◆サービス担当者会議への出席依頼



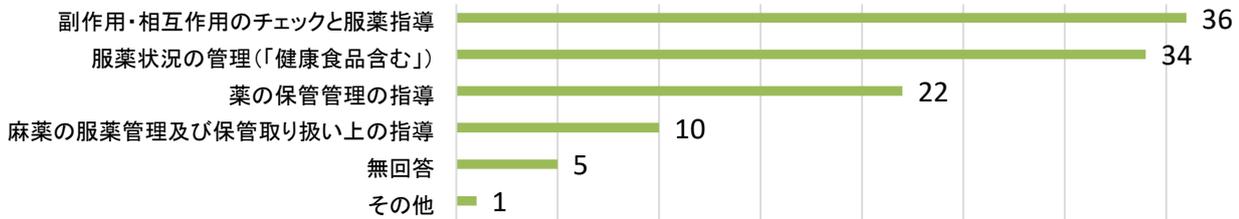
◆薬剤師との連携で困ることはありますか？



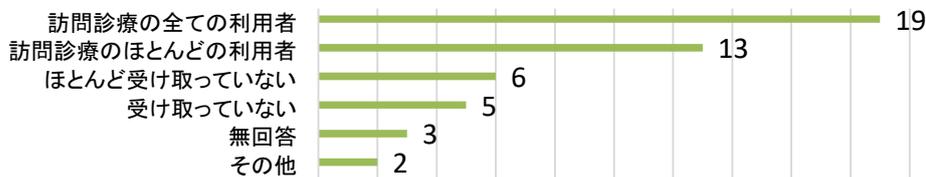
◆「ある」と答えた方は理由についてもお聞かせください。（複数回答）



◆薬剤師との連携で充実したい内容はありますか？（複数回答可）

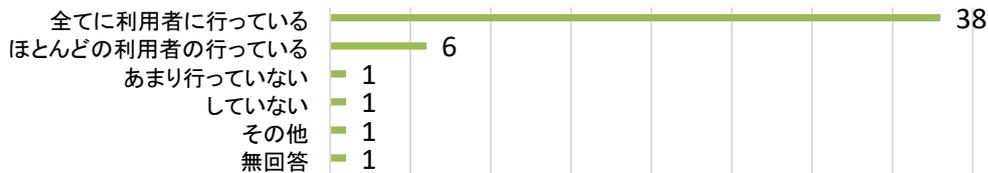


◆居宅療養管理指導を行っている薬剤師より薬に関する訪問情報を受け取っていますか？



（5）訪問看護ステーションとの連携（介護保険の部分）についてお尋ねします。

◆サービス担当者会議への出席依頼



◆訪問看護師との連携で困ることはありますか？



◆「ある」と答えた方は理由についてもお聞かせください。（複数回答）

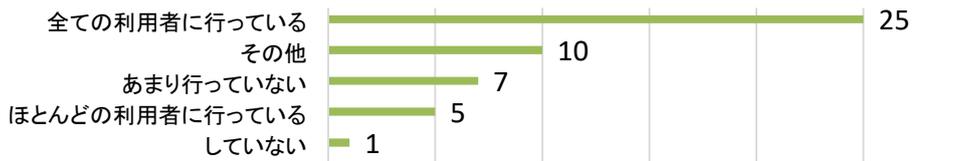


◆訪問看護師との連携で充実したい内容はありますか？（複数回答可）



(6) 地域包括支援センターとの連携についてお尋ねします。

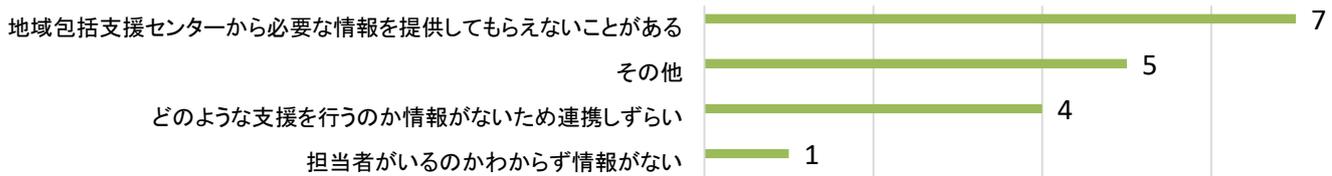
◆サービス担当者会議への出席依頼



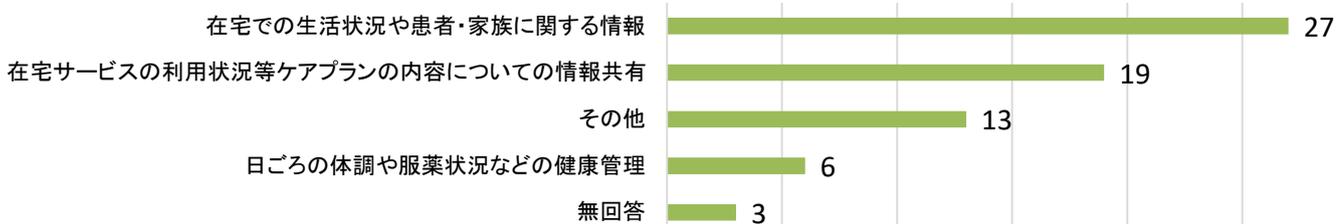
◆地域包括支援センターとの連携で困ることはありますか？



◆「ある」と答えた方は理由についてもお聞かせください。(複数回答可)

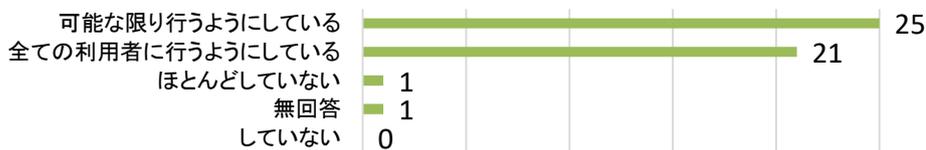


◆地域包括支援センターとの連携で充実したい内容はありますか？(複数回答可)

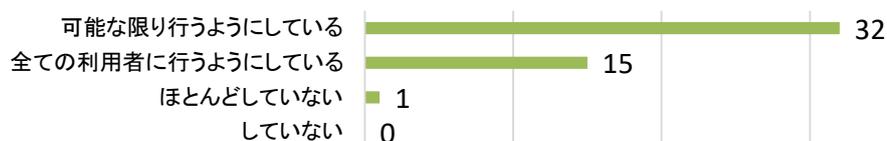


入退院時の入院施設との連携についてお尋ねします。

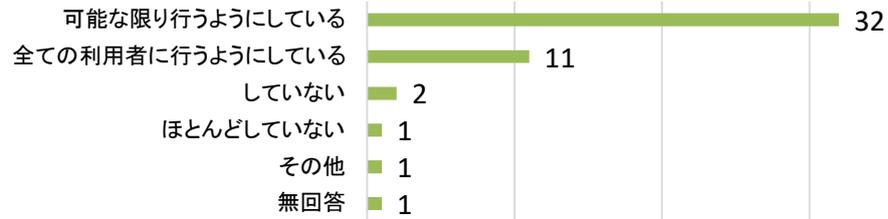
(1) 在宅情報を書面にて提供している



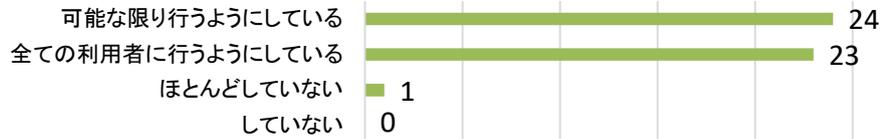
(2) 入院施設に面会に行き、経過情報を取得している



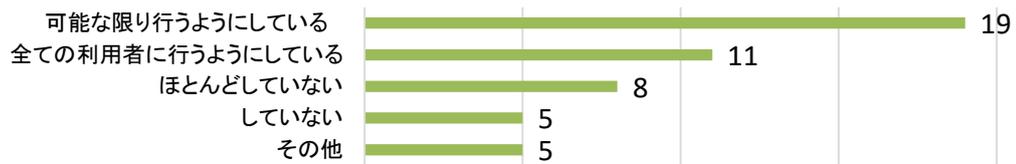
(3) 退院前カンファレンスを依頼している



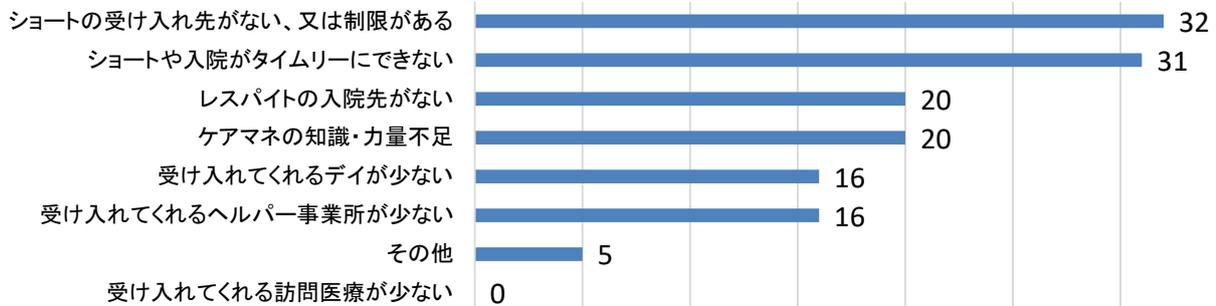
(4) 入院施設からカンファレンスの出席依頼があれば参加している



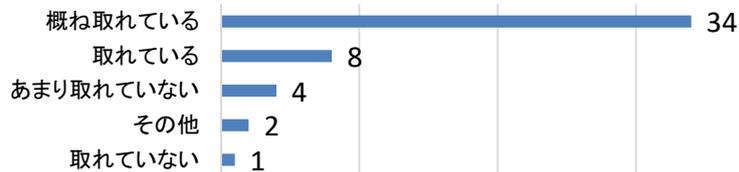
(5) 退院後の居宅サービス計画を渡している



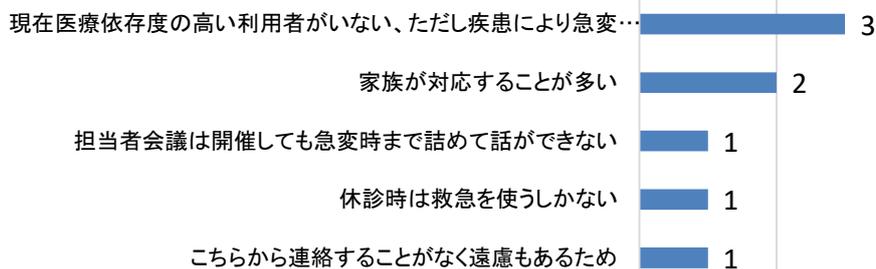
医療依存度の高い利用者あるいは難病等の利用者の在宅支援の課題は何だと思えますか？ (複数回答可)



医療依存度の高い利用者が在宅で体調が急変した場合の対応について ・主治医や訪問看護師等と情報共有し連携できる体制が取れていますか？



「あまり取れていない・取れていない」と答えた方へ、理由は何だと思えますか？ (複数回答可)



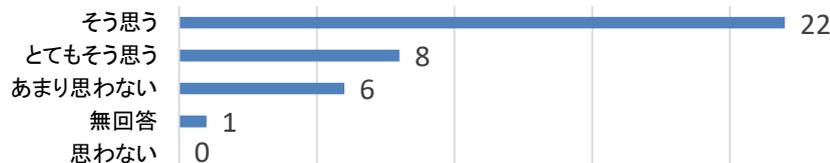
在宅での看取りを希望する利用者に対する医療と介護の連携についてお尋ねします。

(1) 在宅での看取りに関わった経験はありますか？

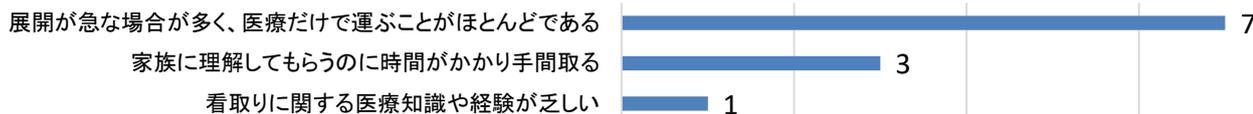


(2) 「ある」と答えた方へ

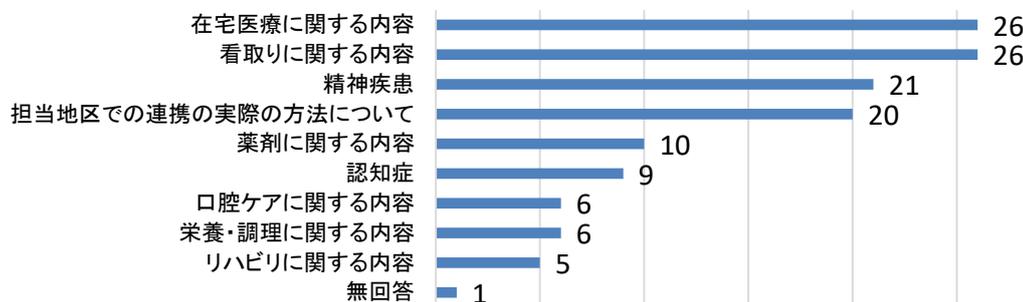
看取り場面において医療と介護の連携はうまく取れていますか？



(3) 「あまり思わない・思わない」と答えた方へ、理由は何だと思えますか？（複数回答可）



医療と介護が連携できるよう、今後ご自身が身に付けたい知識や受講したい研修等について教えてください。（複数回答可）



最期に本アンケートへのご意見。在宅医療との連携に対するご意見などお聞きください。

・主治医に連絡を取ったり意見を求めたりしたくても直接話ができないことが多い。特に大きな病院は書類の返信も遅いし、不備が多かったりと、手間と時間がかかるためスムーズな支援につながらない。病院のスタッフ間の連携ができていないのに外部と連携するのは難しいと思う。

- ・今回のアンケートのように日頃関わってる当事者からの声や要望を拾い上げられる仕組みがあるといい
- ・病院→地域への流れの中で介護職の不足がとても大きな問題だと思います。
- ・データベース化が出来ればスムーズな情報の共有ができて、書類作業も減るのではと期待しています。
- ・在宅医療（居宅療養管理指導による訪問診療）が通院可能な利用者にも進められている。
- ・自分自身の考えを整理するのに良い方式と思う。
- ・アンケートの結果の集計だけにとどまらず、記入した件について動いて頂きたいと存じます…。

・お世話になります。地域柄、病院の近く、いつでも訪問したり、付き添いができます。病院の方とも、その様な状況を繰り返し返すことで、日常的に様子を伝えてくださったり、こちらから様子を聞くこともできます。とても助かっていますし、連携を取ることも比較的身近で利用者さんにも返すことができ安心しています。

- ・認知症で独居、施設を嫌がる人、受診拒否がある、受診に一人で行けない。（家族には、仕事があつたり仲が悪く、丸投げ、体調悪いなどある）
- ・受診しても治療方針の話がDr.とできない場合、ケアマネとしてどこまで支援、関わっていけばよいのか。
- ・医療、介護とどこまで巻き込んでよいのか。悩みます。